

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日
令和2年 2月19日(水)

2 確認箇所
G6タンクエリア

3 確認項目
G6タンクエリアの現況

4 確認結果の概要

G6タンクエリア(図1、写真1)では、溶接型タンク38基(容量:1,330m³/基)の設置が昨年7月に完了し、外堰の設置工事等が進められている(前回進捗確認:令和元年8月19日)。また、10月8日には、多核種除去設備処理水移送中にD9タンク(図2及び写真2)の天板が損傷する事象^{*}が発生し、その対応が行われてきている(令和元年10月9日、11月14日現地確認)ことから、同タンクエリアの現況を確認した。

- ・外堰の設置工事が進捗しており、エリア北東側の一部を残して完成していた。(写真3)
- ・堰内では堰カバーの設置工事が行われていた。(写真4)
- ・10月9日に確認されたD9タンク天板の手摺りの歪みは修復されていた。また、確認した範囲ではタンクに変形等は見られなかった。(写真5)
- ・11月14日の現地確認時に設置されていたD9タンク内径寸法計測作業のためのハウスや歩廊は撤去されていた。(写真6)
- ・東京電力に確認したところ、D9タンクの天板損傷部の補修作業は昨年未までに完了し内径寸法計測も終了しており、現在、原子力規制庁の使用前検査を受けているとのことであった。

※D9タンクからD8タンクに多核種除去設備処理水を移送した際、D9タンク上部から異音が発生し、点検の結果、天板部に損傷(変形、破孔等)が確認されたもので、原因調査の結果、吸気・排気を行うベント管の接続面に養生テープが付いた状態であることが確認され、その状態でタンク内の水を移送したため、タンク内の圧力が低下し、タンク天板が損傷したものと推定された。

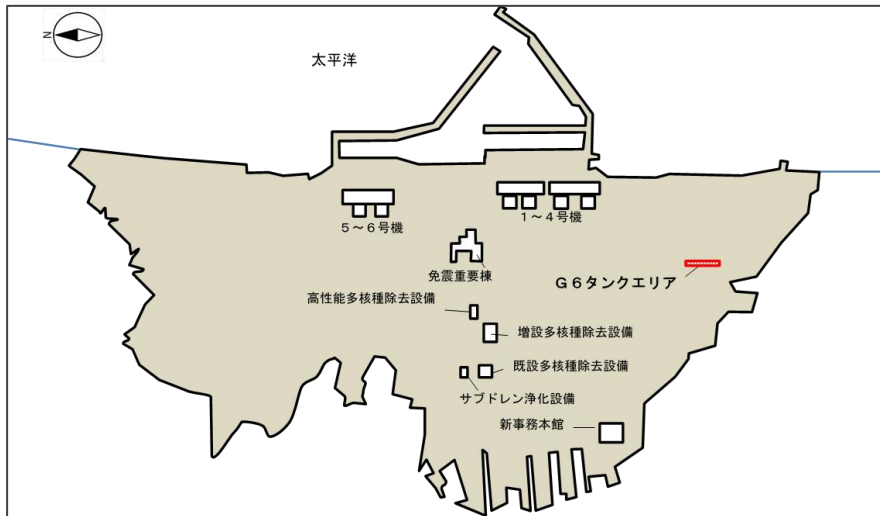


図1 福島第一原子力発電所構内概略図

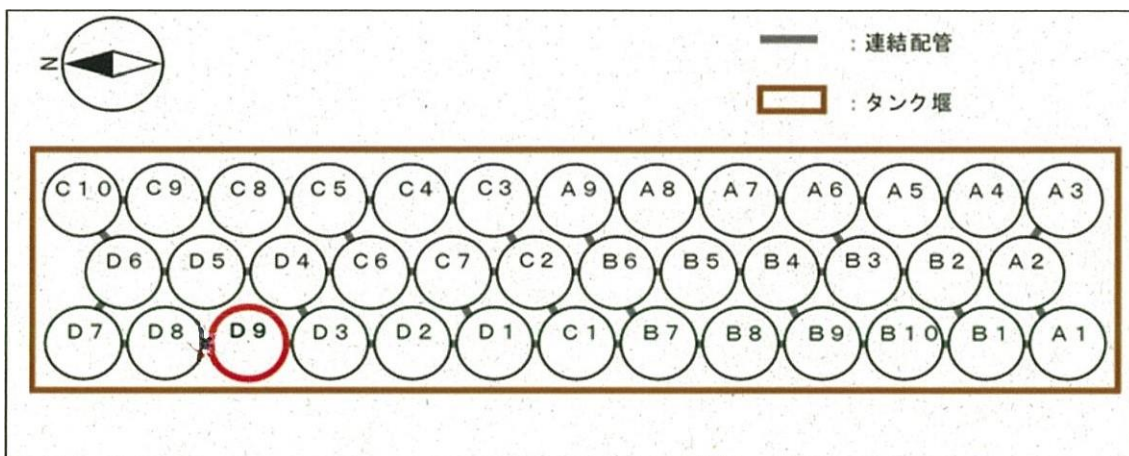
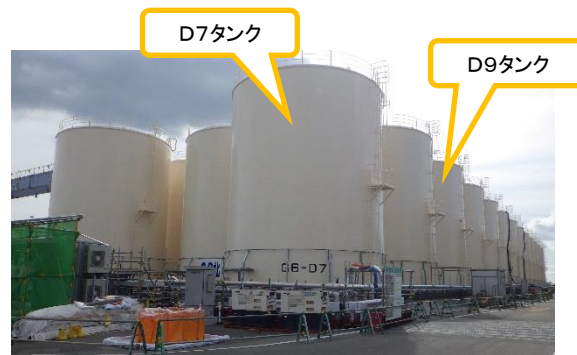


図2 G6タンクエリア配置図



(写真1) G6タンクエリア外観①
(北東側から撮影)



(写真2) G6タンクエリア外観②
(北西側から撮影)



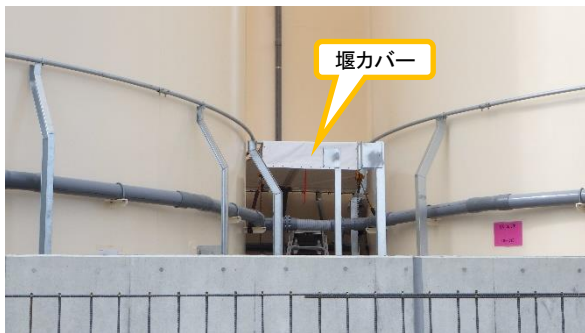
(写真3-1)
エリア東側の外堰設置工事の状況
(令和元年8月19日撮影)



(写真3-2)
エリア東側の外堰設置工事の状況
(本日(令和2年2月19日)撮影)



(写真3-3)
エリア北東部の外堰設置工事の状況



(写真4)
堰カバー設置工事の状況



(写真5-1) 天板手摺りの歪み
(令和元年10月9日撮影)



(写真5-2) 天板手摺り補修状況
(本日(令和2年2月19日)撮影)



(写真5-3)
D9タンク外観



(写真6-1) D9タンク周辺の状況
(令和元年11月14日撮影)

(写真6-2) D9タンク周辺の状況
(本日(令和2年2月19日)撮影)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。